

「弥生文化の調査研究・発信」に係る三県連携事業 概要

とっとり弥生の王国推進課

1 目的

日本列島における弥生文化の実像を多角的かつ広域的・重層的に把握し、その多様性や特性を解明するために、弥生時代の大陸・半島との玄関口「九州北部」、日本海沿岸の交易・交通の拠点「山陰」、東西を結ぶ主要ルート「山陽」の各地域が連携して弥生文化に関する調査研究・情報発信を行うこととし、なかでも、弥生文化を活用した地域振興の取組を進めている、佐賀、鳥取、岡山の3県が連携して弥生文化の調査研究を行う。

その成果を相互に比較検討して再評価することで、これまでにない『新たな弥生時代・弥生文化像』を提示、現代社会における弥生文化の価値の再発見を提起し、弥生遺跡の付加価値を向上、ブランディングに繋げる。また、調査研究の成果を活かした展示、シンポジウム・講演会や各種プロモーション、イベントといった、遺跡や弥生文化の魅力発信のための連携事業を行う。

こうした連携事業を通し、それぞれの地域での誘客の拡大や地域活力の向上に繋げるとともに、弥生文化への認知度向上を目指し、日本の歴史における弥生文化の価値を高めていく。

2 連携県及び担当部局

鳥取県…地域社会振興部文化財局とっとり弥生の王国推進課（妻木晩田・青谷上寺地遺跡）

佐賀県…文化・観光局文化課文化財保護・活用室（吉野ヶ里遺跡）

岡山県…教育庁文化財課（津島遺跡）

3 連携テーマ

「YAYOI Renaissance（弥生 ルネサンス）」 ※古典古代の文化を復興し活かそうとする中世ヨーロッパの文化運動を、弥生文化の再評価、遺跡を通じた文化の再発見や再興の取組みとして象徴させる。

4 スケジュール

一つのテーマについて、三箇年程度でそれぞれ調査研究を行い、最終年度にシンポジウムを行うとともに、翌年度にかけてその成果の展示を各県で実施する。また、各年度においても調査研究内容の年次報告を実施する。

初年度である令和7年度は、連携事業を広報するイベントを各県で開催するとともに、令和8年度に知事が集まってくるキックオフイベントを開催する。次年度以降、三県が連携したイベントを開催。

鳥取・佐賀・岡山 3県連携事業 「YAYOI Renaissance」 全体の進捗イメージ

